

「米軍再編に伴う米軍機訓練移転」に関する主な経過

※ 総合開発特別委員会（平成20年6月26日）以降の経過

7月15日（火）

○米軍再編に係る嘉手納基地飛行場から三沢基地への訓練移転（共同訓練）に関する訓練計画概要の地元通知。

7月28日（月）～29日（火）

○三沢基地の訓練移転状況を苫小牧市単独で視察。

8月26日（火）

○米軍再編に係る嘉手納基地飛行場から新田原基地への訓練移転（共同訓練）に関する訓練計画概要の地元通知。

9月11日（木）

○山口県見島沖におけるF-15緊急脱出についての通知。

9月12日（金）

○築城基地所属F-15戦闘機墜落事故に関する申入れ。

平成20年7月15日
防 衛 省

米軍再編に係る嘉手納飛行場から三沢基地への訓練移転(共同訓練)
に関する訓練計画概要の地元通知について

米軍再編に係る嘉手納飛行場から三沢基地への訓練移転(共同訓練)に関する訓練計画概要について、本日、東北防衛局が三沢基地関係地方公共団体(三沢市、東北町、青森県)に対し通知することとしておりますので、お知らせします。

- 期 日：平成20年7月23日(水)～30日(水)(但し、土曜日及び日曜日は訓練を行わない。)
- 参加部隊：[米軍]
第18航空団(嘉手納)
[航空自衛隊]
第3航空団、北部航空警戒管制団
- 使用基地：三沢基地
- 演練項目：戦闘機戦闘訓練等
- 使用訓練空域：三沢東方空域、秋田西方空域
- 参加規模：タイプⅡ規模訓練
[米軍]
F-15×6機程度、人員約80名(嘉手納)
※人員、器材等輸送のため輸送機が飛来予定
[航空自衛隊]
F-2×4機程度、F-4×4機程度

問い合わせ先：

防衛省地方協力局地方協力企画課連絡調整室長 松本

TEL 03-3268-3111(内線36242)

地方調整課訓練調整室防衛部員 中筋

(内線36274)

三沢基地日米共同訓練現地調査結果について(概要)

【調査日 平成20年7月28日(月)～29日(火)】

1 訓練概要

- (1) 訓練時期 平成20年7月23日(水)～30日(水) ※土曜日及び日曜日には行わない
- (2) 訓練形態 タイプⅡ
- (3) 参加部隊 [米軍]第18航空団(嘉手納基地)
[自衛隊]第3航空団、北部航空警戒管制団(三沢)
- (4) 演練項目 戦闘機戦闘訓練等
- (5) 訓練空域 三沢東方空域、秋田西方空域
- (6) 参加規模 [米軍]F-15×6機程度、人員約80名(嘉手納基地)
※人員、器材等輸送のため輸送機が飛来予定
[自衛隊]F-2×4機程度(三沢)、F-4×4機程度(三沢)

2 調査結果

	三沢防衛事務所	三 沢 市	東 北 町
日米共同訓練に係る協定について	<ul style="list-style-type: none"> 協定は結んでいない ※19年度と同様	<ul style="list-style-type: none"> 協定は結んでいない ※19年度と同様	<ul style="list-style-type: none"> 協定は結んでいない ※19年度と同様
住民周知について	<ul style="list-style-type: none"> 非公式通知 7月11日 公式通知 7月15日 ※非公式通知 H19-13日前→H20-12日前 ※公式通知 H19-6日前→H20-8日前	<ul style="list-style-type: none"> 7月16日から訓練内容を市で整備しているケーブルテレビにて放映 三沢基地周辺町内連合会等に対し訓練内容をFAXにて通知 議長、副議長、基地対策特別委員に訓練内容を通知 ※町内連合会等説明→FAX通知へ	<ul style="list-style-type: none"> 7月16日に対象地区200世帯に各戸配布により通知 ※対象地区説明会 H19実施→H20なし
米兵の行動把握について	<ul style="list-style-type: none"> 三沢防衛事務所内に連絡本部を設置 事件やトラブルは、特になかった。 ※19年度と同様	<ul style="list-style-type: none"> 特別な体制は無し。 緊急連絡先として、基地渉外課課長補佐が携帯電話にて24時間対応 ※19年度と同様	<ul style="list-style-type: none"> 特別な体制は無し。 緊急連絡先として、基地対策室長が携帯電話にて24時間対応 ※緊急連絡先 H19総括主幹→H20室長
騒音について	<ul style="list-style-type: none"> 固定測定局12ヶ所で測定(三沢市7、東北町5) 臨時測定局8ヶ所(1ヶ所公開) 測定結果は地元自治体に報告 ※固定測定局11→12ヶ所 臨時測定局は19年度と同様	<ul style="list-style-type: none"> 市の常時測定局7ヶ所 局の臨時測定局4ヶ所 訓練終了後、局のデータを受領予定 ※常時測定局8→7ヶ所へ(測定局1ヶ所撤去のため)	<ul style="list-style-type: none"> 町の測定局は無し 局の臨時測定局4ヶ所 訓練終了後、局のデータを受領予定 ※19年度と同様

平成20年 8 月26日
防 衛 省

米軍再編に係る嘉手納飛行場から新田原基地への訓練移転(共同訓練)
に関する訓練計画概要の地元通知について

米軍再編に係る嘉手納飛行場から新田原基地への訓練移転(共同訓練)に
関する訓練計画概要について、以下のとおり、九州防衛局が、本日、新田
原基地関係地方公共団体(新宮町、西都市、宮崎市、高鍋町、木城町、宮
崎県)に対し通知することとしておりますので、お知らせします。

○期 日：平成20年9月2日(火)～4日(木)

○参加部隊：[米軍]

第18航空団(嘉手納)

[航空自衛隊]

第5航空団、西部航空警戒管制団

○使用基地：新田原基地

○演練項目：戦闘機戦闘訓練等

○使用訓練空域：九州西方空域、四国沖空域

○参加規模：タイプI訓練

[米軍]

F-15×2機程度、人員約20名程度

[航空自衛隊]

F-4×4機程度

以 上

問い合わせ先：

防衛省地方協力局提供施設課移設整備室長 遠藤

☎03-3268-3111(内線36317)

地方調整課訓練調整室防衛部員 中筋

(内線36274)

米軍再編に係る訓練移転に関する沖縄県の負担軽減調査結果

照 会 項 目		沖 縄 市	嘉 手 納 町	北 谷 町	備 考
(1) ・平成18年度、平成19年度の米軍機の70W超過日数を教えてください。	平成18年度	市内の4ヶ所の測定局 476日	町内の4ヶ所の測定局 992日	町内の4ヶ所の測定局 652日	
	平成19年度	市内の4ヶ所の測定局 465日	町内の4ヶ所の測定局 1,020日	町内の4ヶ所の測定局 641日	
2カ年度の比較		-11日	28日	-11日	
(2) ・平成19年度の嘉手納基地から小松・三沢・新田原基地へ3回訓練移転が実施されておりますが上記2カ年度調査結果を含め、貴市町の負担軽減になったとお考えですか。		<ul style="list-style-type: none"> ・嘉手納飛行場の2本の滑走路の内1本が、H19.1からH19.11まで改修工事のため閉鎖。 ・F15戦闘機事故のため3ヶ月飛行停止。 ・上記は通常の基地運用と異なるため比較は難しい。 ・F22戦闘機暫定配備や岩国のF18飛来も多い状況 ・よって、全体的には騒音の軽減になったとは感じられない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・H19.1月より12月北側滑走路の改修工事のため閉鎖 ・F15戦闘機が不具合を生じ約3ヶ月飛行停止。 ・騒音的には確かに軽減となっているが、上記理由ことで、はたして軽減となったのかの判断はしにくいと考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・住民苦情は後を絶たず住民が実感できる真の負担軽減にはなっていない。 ・地对空誘導パトリオット(PAC3)の強制配備、外来機30機、空軍、海軍合同訓練、伊江島補助飛行場のパラシュート降下訓練の強行実施、などがあり、負担軽減にはほど遠く、逆に基地の機能強化につながる負担で増加している。 	
(3) ・平成20年度の訓練移転については、嘉手納、岩国、及び三沢基地から10回程度計画されておりますが、貴市町の負担軽減になるとお考えですか。		<ul style="list-style-type: none"> ・今年度はタイプIIも実施されることから、実施前後の騒音発生状況を確認してみないと何ともいえないが、外来機等の飛来がなくならない限り、航空機騒音の軽減になるとは思われない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年中外来(FA18・F16・ハリヤー機等)が飛来し、多いときには30機におよぶ外来機が約3ヶ月程度移駐している。 ・日常的には約15機程度常駐している。 ・負担軽減になるとは思わない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今のところわからない。 ・沖縄県が正式に公表する騒音測定調査結果を分析した上で明らかにしたい。 	

(お知らせ)

20. 9. 11

航空幕僚監部

山口県見島沖におけるF-15緊急脱出について

速報のため、致便については変更する可能性がある。

- 1 発生日時
20. 9. 11 (木) 16時20分頃
- 2 発生場所
山口県見島沖南西約30kmの洋上
- 3 部隊名
第8航空団 第304飛行隊
- 4 機種・機数
F15J×1機
- 5 概要
本日、15時43分 訓練のため築城飛行場を離陸したF-15戦闘機1機が、訓練中にエンジンになんらかの異常を認め、操縦不能と判断し緊急脱出した。
- 6 操縦者の状況
操縦者は発見されている。
- 7 地上被害等
確認中

(お知らせ)

20.9.11 1800(1)
航空幕僚監部

山口県見島沖におけるF-15緊急脱出について

速報のため、数値については変更する可能性がある。

- 1 発生日時
20.9.11(木)16時20分頃
- 2 発生場所
山口県見島沖南西約30kmの洋上
- 3 部隊名
築城基地(第8航空団 第304飛行隊)
- 4 機種・機数
F15J×1機
- 5 概要
15時43分 築城離陸
16時20分 エンジン・トラブルにより水平飛行不能となり、洋上において緊急脱出
僚機がパラシュートの開傘を確認
22分 第6救難区域航空救難発令
23分 事故機は海没
32分 当該操縦者によると思われる信号弾の閃光を僚機が確認
34分 捜索機現場到着
36分 捜索機が当該操縦者を発見
44分 救助機現場到着
56分 当該操縦者は、救難ヘリコプターにより救出された。
※ 操縦者は顕著な外傷は認められていない。意識あり。
17時24分 築城基地に搬送完了
25分 海上自衛隊機、海没位置付近で尾翼らしきもの確認
33分 衛生隊搬送完了
48分 第6救難区域航空救難終結

6 過去のF15緊急脱出事例5件

平成2年	7月	2日	7空団	百里沖	F15J	空間識失調
平成3年	12月	13日	2空団	小松洋上	F15DJ	火災
平成4年	10月	27日	7空団	百里沖	F15J	操縦不能
平成5年	10月	6日	教導隊	苫小牧沖	F15DJ	燃料欠乏
平成7年	11月	22日	6空団	小松洋上	F15J	被撃墜

築城基地所属F15戦闘機墜落事故に関する申入れについて

この度、訓練中に発生しました築城基地所属のF15墜落事故につきまして、9月11日に連絡を受けました。

航空自衛隊において事故調査委員会を設け、事故原因の調査に当たると聞いておりますが、事故機と同型戦闘機が配備されております千歳基地第2航空団のF15について、安全が確保されるまでは、飛行停止をしていただきますよう強く申し入れます。

記

- 1 同機種の安全確保の点検が終了するまでは、千歳基地第2航空団所属F15の飛行停止を行うこと。
- 2 事故関連の情報提供を速やかに行うこと。

平成20年9月12日

北海道防衛局長

土居隆彦様

苫小牧市長 岩倉博文

平成20年9月16日
航空自衛隊千歳基地

(お知らせ)

F-15の飛行訓練等の実施について

航空自衛隊は、9月11日(木)山口県見島沖でF-15の操縦者が緊急脱出した事故にかんがみ、F-15の飛行は対領空侵犯措置関連を除き見合わせておりました。

航空幕僚監部によると、本事故は、訓練飛行中、両エンジンに機動等によるエンジン内の空気の乱れ、電気系統又は燃料系統の不具合が発生し、飛行に必要な推力が得られない状況に至った可能性があるとの情報がありました。

そのため、千歳基地は、中央の指示に基づき、本事故に至った状況から推定し得る安全確保に必要な特別点検を実施したところ、9月16日(火)現在で千歳基地保有機数の55%の点検が終了し、残りの機体も順次実施しております。

また、パイロットを含む隊員に対する必要な安全教育も、9月12日(金)に終了しました。

つきましては、安全確保のための特別点検を実施し異状のないことが確認できた航空機を使用して、17日(水)からF-15の飛行訓練等を実施していきます。

以上